

## 〈調査研究の目的及び方法〉

### (1)調査研究の目的

改正児童福祉法の施行に伴う保育所の対応状況と、保育サービス提供の取り組みの実態を保育所を対象に調査し、かつ保育所を利用している保護者の意見を聞くなど、子育て家庭の生活の実情やニーズに関する調査研究を行い、今後の保育所保育の充実と向上に資することを目的とする。

### (2)調査研究の内容

次の項目を中心に調査研究を実施した。

#### 1.施設調査

- (i)乳児の受け入れについて(ii)保育所の情報提供について(iii)入所申込みの代行について
- (iv)地域の子育て支援について(v)保育時間、開所時間、保母数等について
- (vi)一時保育について(vii)調理の業務委託について

#### 2.利用者調査

- (i)市町村の入所に関する対応について
- (ii)保育所についての評価と保育サービスに対する満足度について
- (iii)保育サービスの利用度について(iv)保育所を選んだ理由について
- (v)今後希望する保育サービスの内容について(vi)保育時間等について

### (3)調査研究スタッフ

改正保育制度施行の実態に関する調査研究員

- 野坂 勉(大正大学教授)
- 岡本善之(麻布大学名誉教授)
- 須永 進(秋草学園短期大学教授)
- 猪股 祥(平塚保育園園長)
- 小島 昇(南秦野保育園園長)
- 内田祐子(狭山台みつばさ保育園主任保母)

保育所における保育サービスの提供に関する調査研究員

- 日名子太郎(聖徳大学名誉教授)
- 野坂 勉(大正大学教授)
- 荻須隆雄(玉川大学教授)
- 山城清子(草花保育園園長)

白石桂子(青山保育園園長)  
 太田嶋信之(あゆみ第2保育園園長)  
 森田倫代(みどり保育園主任保母)

#### (4)調査期間及び調査時点

自 平成 11 年 1 月 11 日  
 至平成 11 年 2 月 15 日  
 (調査時点・平成 11 年 1 月 1 日)

#### (5)調査の手続き

##### ア 調査対象保育所の選定

調査対象保育所は、全国保育所数の 10 分の 1 抽出によるものとし、各都道府県・指定都市・中核市ごとの公・民営別にそれぞれ 10 分の 1 を抽出した施設とし、調査対象利用者は、1 施設 15 人程度とした。

##### イ 調査の方法

前項アで選定した調査対象保育所に対して、調査票(施設用及び利用者用)を送付し、施設用調査票は保育所長(但し所長未設置及び兼務の場合には、主任保母)に記入を依頼し、利用者用調査票は、保護者に手渡しして、記入後回収をお願いした。

##### ウ 調査票の回収数及び回収率(集計対象数)

項 目		カ所数および回収率	
		施設分	利用者分
調査票・配布保育所・利用者数		2,302	34,530
調査票回収保育所・利用者数(率)		1,385 (60.16%)	19,507 (56.50%)
内 訳	有効調査票数(率)	1,382 (99.78%)	19,499 (99.96%)
	無効調査票数(率)	3 (0.22%)	8 (0.04%)

#### (6)整理、分析基準

調査票の集計に当っては、次の基準によって整理、分析した。

##### ア 経営主体別

地方自治体が運営する公営保育所と、社会福祉法人などが運営する民営保育所に大別している。(i)公営、(ii)民営

#### イ 地域区分別

地域特性を考察するために、全国を7区分に分類している。(i)北海道・東北地区、(ii)関東地区、(iii)東海地区、(iv)北信越地区、(v)近畿地区、(vi)中国・四国地区、(vii)九州地区。

#### ウ 所在地区別

都市階級による特性を考察するために、全国を6区分に分類している。(i)都区部・指定都市(特別区並びに指定都市:東京23区、札幌、仙台、千葉、川崎、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、北九州、福岡)、(ii)県庁所在市(指定都市を除く県庁所在市)、(iii)中都市(人口15万人以上で、指定都市、県庁所在市を除く市)、(iv)小都市A(人口5万人以上15万人未満の市)、(v)小都市B(人口5万人未満の市)、(vi)町村。

#### エ 定員規模別

定員規模により6区分に分類している。(i)45人以下、(ii)46～60人、(iii)61～90人、(iv)91～120人、(v)121～150人、(vi)151人以上

#### オ 3歳未満比率別

当該施設に在籍する3歳未満児の割合により、5区分に分類している。(i)0～9%、(ii)10～29%、(iii)30～49%、(iv)50～69%、(v)70～100%。

### (7)整理分析担当

調査票の集計、整理、分析、まとめには、研究員全員が当たった。